

ずいそう

西国街道ぶらり旅

濱谷 武治



ぶらり旅って何？

広島に「西国街道ぶらり旅の会」という、文字通り旧山陽道（西国街道）をぶらりぶらりと旅を楽しむ会があります。私はこの会に平成11年頃入会し、多くの会員と一緒に毎回10km近くを歩き続けて、一昨年（2006）には、広島県内170kmを歩き通し、今は東は岡山県、西は山口県内を歩き続けています。

西国街道って何処のこと？

西国街道は、旧山陽道の広島県内の呼称です。この旧山陽道は、古代から中世までは、京都と大宰府を結ぶ唯一の大路として、文化の大回廊でしたが、江戸時代には脇街道となりました。しかし、大阪と西国を結ぶ重要な道としての位置づけで整備されていました。起点は、西宮という説、山崎道を入れて京都・羅生門とする説もあります。終点は、下関市の亀山神社下に石碑が立っており、ここが終点です。

私は、ぶらり旅の効用を以下のように感じています。

街道歩きの効用7カ条

その1 古を偲ぶ

西国街道を歩く効用の第一は、何と言っても古い道を辿るので「古を偲ぶ」となります。今、車社会にドブブリと漬かっている現代人にとって、その昔、先達が自らの足で行き来した道を辿りながら、その頃に思いをはせるのはとても貴重な体験です。如何してこんな山道を通ったのかなあ。平坦な海岸道もあるのに…。雑草茫々の道の維持は大変だったんだろなあ。道普請はそのためにあったのかなあ。また急坂の箇所は石畳にして侵食を防いだのかなあ。さすがの殿様でも歩かされた急坂もあったんだなあ。

こんな疑問や思いが出るのも自分の足で歩いているからです。

その2 四季の自然を楽しむ

四季を通じて歩くので、路傍の自然に心を癒される効用があります。西国街道は町中、山中、田畑の中等を通過しています。周囲を、歩くスピードで見ることができるので、家々の庭や田畑のあぜ道に咲いている花々、山中にある花や木の実等、四季を通じて心を和ませてくれます。車社会とは違った、ゆったりとしたスピードの中で見る景色は一風違って見えます。

その3 心のリフレッシュ

現代人は多くのストレスに晒されていますから、そんなストレスを解消させる効用があります。公共事業の大幅な削減で建設業界はストレスのたまることばかりです。その解消方法は個人で違っていると思いますが、私のストレス解消の一つが西国街道歩きです。

その4 運動（足腰と精神の鍛錬）

歩くことはもちろん運動の効用があります。2～3ヶ月に一度、8～10kmを歩くのですが、けっこう運動になります。もちろんそのためにも、日常から歩くことを心がけるようになります。また、暑い夏の歩行、寒い冬の歩行は、精神の鍛錬になっていると思います。

その5 知り合いづくり

多くの人との知り合いづくりの効用があります。毎回、多い時では80人も人が参加します。地域も違い、職業も違う人達と一日一緒に歩いていると、親しみを覚えます。一回では無理でも、二回三回と一緒になればその人が気になります。

その6 地域の人との交流

街道に沿った地域を訪れることで、地域の人との交流の効用があります。お寺を訪れると、親切に本堂の案内やお茶の接待を受けたり、道行く幼稚園児から「おじいちゃんの遠足だ～」なんて言われたり、地域の名物菓子店、酒蔵を訪ねてお話を聞いたりなどなど、地域の人との親切に感激することの多いぶらり旅です。

その7 女房との時間

最後の効用は女房との時間づくりの効用です。ぶらり旅には、途中から女房と二人で参加するようになりました。植物好きの彼女は路傍の草花に関心を示します。そんな彼女の話に応じるため、私も少しは草花に詳しくなりました。遠く離れて暮らす子供たちのこともよく話題にします。こうして一緒に歩きながら、のんびりした気分の下で二人での語らいの時間が持てるのは大きな効用です。

これからは…？

こうして、西国街道を歩き続けてもう9年になります。これからも、7つの効用を心に留めて、女房と一緒に歩き続けたいと思います。人生もまた同様です。